

岩手県立胆沢病院の現状 2025



地域を支える 生命を守る
未来を育む医療を目指して

院長 鈴木俊郎
2025.08.04



病院運営方針

- 1) **救急医療を含む急性期医療**: 胆江保健医療圏域の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏域の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 2) **がん医療**: 地域がん診療病院として、がん診療連携拠点病院(県立中央病院)と連携し、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- 3) **地域医療支援**: 地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) **災害医療**: 地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) **臨床研修、スタッフ教育**: 臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。

上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院経営に努めます。

胆沢病院の文化・こころ

- 患者を選ばない
- 救急は断らない
- 困っている人は何とかしてあげる
- 安心させてあげる
- 後輩を教える、育てる
- 挨拶をする
- ありがとうを伝える



岩手県立胆沢病院沿革

昭和11年 1月	医療産業組合による購買利用組合胆沢病院として開設。病床数77床
昭和19年12月	岩手県農業会に移管
昭和25年11月	岩手県農業会から岩手県に移管。岩手県立胆沢病院として業務開始。病床数86床
昭和45年12月	病院本館改築。病床数245床
平成 3年10月	許可病床数変更 385床（一般311床、結核60床、伝染14床）
平成 9年 3月	移転新築。病床数351床（一般331床、結核20床）
平成15年 4月	臨床研修病院指定
平成15年 8月	厚生労働省に臓器提供施設の届出
平成16年 3月	（株）日本環境認証機構のISO14001の認証登録
平成25年 8月	許可病床数変更 346床（一般337床、結核9床）
平成26年12月	地域医療支援病院の承認
平成27年 9月	手術支援ロボット ダビンチによる手術開始
平成28年 6月	（公財）日本医療機能評価機構認定（一般病院2 3rdG : Ver. 1.1）
平成30年 3月	ヘリポート整備
平成30年 4月	（NPO法人）卒後臨床研修評価機構認定
平成30年11月	入退院支援センター一運用開始
令和 4年 6月	消化器外科設置 標榜診療科23科
令和 6年 4月	腎臓内科設置 標榜診療科24科
令和 7年 4月	病理診断科設置 標榜診療科25科
令和 7年 7月	（公財）日本医療機能評価機構認定（一般病院2 3rdG : Ver. 3.0）



医師 77人（うち臨床研修医 15人） 医療クランク 37人

看護師 307人（助産師含む） 准看護師 2人 看護補助者 46人

薬剤師 15人 診療放射線技師 19人 臨床検査技師 20人

理学療法士 12人 作業療法士 7人 言語聴覚士 4人

臨床工学技士 6人 視能訓練士 1人 医療社会事業士 5人

管理栄養士 6人 調理師（手） 15人

事務職員 37人 その他 12人

医療安全管理専門員 1人

合計 630人（臨時・パート含む）



将来の医療を担う研修医



一年次 8名



二年次 7名

患者数の状況

1 患者延数

	入 院	対前年度比較	外 来	対前年度比較
R3年度	96,021		146,893	
R4年度	99,689	3,668	148,370	1,477
R5年度	99,719	30	154,243	5,873
R6年度	97,781	▲1,938	148,666	▲5,577

2 一日平均患者数

	入 院	対前年度比較	外 来	対前年度比較
R3年度	263		607	
R4年度	273	10	611	4
R5年度	272	▲1	635	24
R6年度	268	▲6	612	▲23

現時点で、R7年度の入院患者数は、R6年度より増加しています。

救急患者数等

【令和6年度実績】

○ 救急患者数	13,599人	(1日平均 37.1人)
		(R5 39.4人)
(内訳)		
・ 救急車搬入	3,468人	(1日平均 9.5人)
		(R5 10.2人)
・ ドクターヘリ	8人	



現時点で、R7年度の救急患者数は、R6年度とほぼ同数です

胆沢病院の弱み

- 周産期診療不可
- 小児科一人科長診療体制
- 病理常勤医の不在
- 脳外科常勤医師不在（R6年4月～）
- がん診療連携拠点病院→がん診療連携病院
- 腎移植休止
- R6年度決算で9年ぶりに赤字転落
- 皮膚科常勤医師不在（R7年4月～）
- 医師不足（特に中堅医師）
- 施設の老朽化、空調不具合

各県立病院の常勤医師数の変化

	内陸										県北・沿岸										計 A	経営計画 確保目標 B	差 A-B	
	中央	中部	遠野	東和	胆沢	江刺	磐井	千厩	大東	南光	大船渡	高田	釜石	大槌	宮古	山田	久慈	二戸	一戸	軽米				センター
R 6	174	83	7	7	71	9	69	8	3	11	43	6	22	5	33	5	30	30	11	6	9	642	645	▲3
R 7	175	81	9	7	62	9	66	10	3	15	38	6	19	4	33	5	29	34	9	6	8	628	643	▲15
増減	1	▲2	2	0	▲9	0	▲3	2	0	4	▲5	0	▲3	▲1	0	0	▲1	4	▲2	0	▲1	▲14		

※各年度4月2日現在

減少した病院数（医師数増減）

内陸（10病院）：3病院（▲5人） ※▲14人+9人

県北・沿岸（10病院）：5病院（▲8人） ※▲12人+4人

胆沢病院の強み

救急・急性期診療
を中心とした地域
医療

若手医師(初期研
修医・専攻医)の
育成

大学医局との密接
な関係：東北、岩
手医、秋田、東北
医科薬科

ロボット支援下手
術：泌尿器科、外
科、呼吸器外科

手術支援ロボット
ダビンチxiに更新

消化器、呼吸器、
循環器内科、総合
診療科、麻酔科の
充実した診療体制

各診療科間の協力
体制、各専門職と
のチーム医療

診療応援：遠野、
東和、江刺、大東、
千厩、まごころ

県立病院における指導医の配置状況 (R7)

(単位:人)

※1

	消内	循内	呼内	血内	糖内	脳内	腎内	腫瘍	リウ	小児	皮膚	精神	消外	呼外	心外	小外	乳外	産婦	眼	耳鼻	泌尿	脳外	放射	麻酔	救急	形成	総診	総計
中央	2			1	1	3	2	1					3		2		1	2		1	1		1	5		1	1	28
中部	1				1					1			3				1			1	1			3	1			13
胆沢	3		3					1					2	1	1					1	4		1	5		1	23	
鯉井	2					1				1			2					4			1			3		1	15	
江刺	1																										1	
東和																											2	2
大東																												0
南光																												0
センター	1			1																								2
	10	0	3	2	2	4	2	2	0	2	0	0	10	1	3	0	2	6	0	3	7		2	16	1	2	4	84
大船渡										1			1												1			3
釜石													1															1
宮古										1								1			1							3
久慈													1								1			1				3
二戸						1							1					2										4
千厩																												0
遠野													1															1
高田																												0
大槌																												0
山田													1															1
一戸																				1								1
軽米													1															1
	0		0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	7	0	0	0	0	3	0	0	2		0	0	2	0	0	18
総計	10	0	3	2	2	5	2	2	0	4	0	1	17	1	3	0	2	9	0	3	9	0	2	16	3	2	4	102

病院（病床数）	指導医数/総医師数
中央（685）	28/175
中部（434）	13/81
胆沢（346）	23/62
磐井（315）	15/66

少数精鋭ながら充実した診療指導体制

研修施設認定

日本内科学会（基幹）

日本呼吸器学会（連携）

日本呼吸器内視鏡学会

日本循環器学会

日本脈管学会

日本消化器病学会

日本消化器内視鏡学会

日本消化管学会

日本外科学会

日本消化器外科学会

日本整形外科学会

日本泌尿器科学会

日本透析医学会

日本皮膚科学会

日本麻酔科学会

日本ペインクリニック学会

日本呼吸器外科学会（連携）

日本耳鼻咽喉科学会

日本心血管インターベンション治療学会

日本病院総合医学会

日本不整脈心電学会

日本輸血・細胞治療学会

日本臨床腫瘍学会

日本血液学会

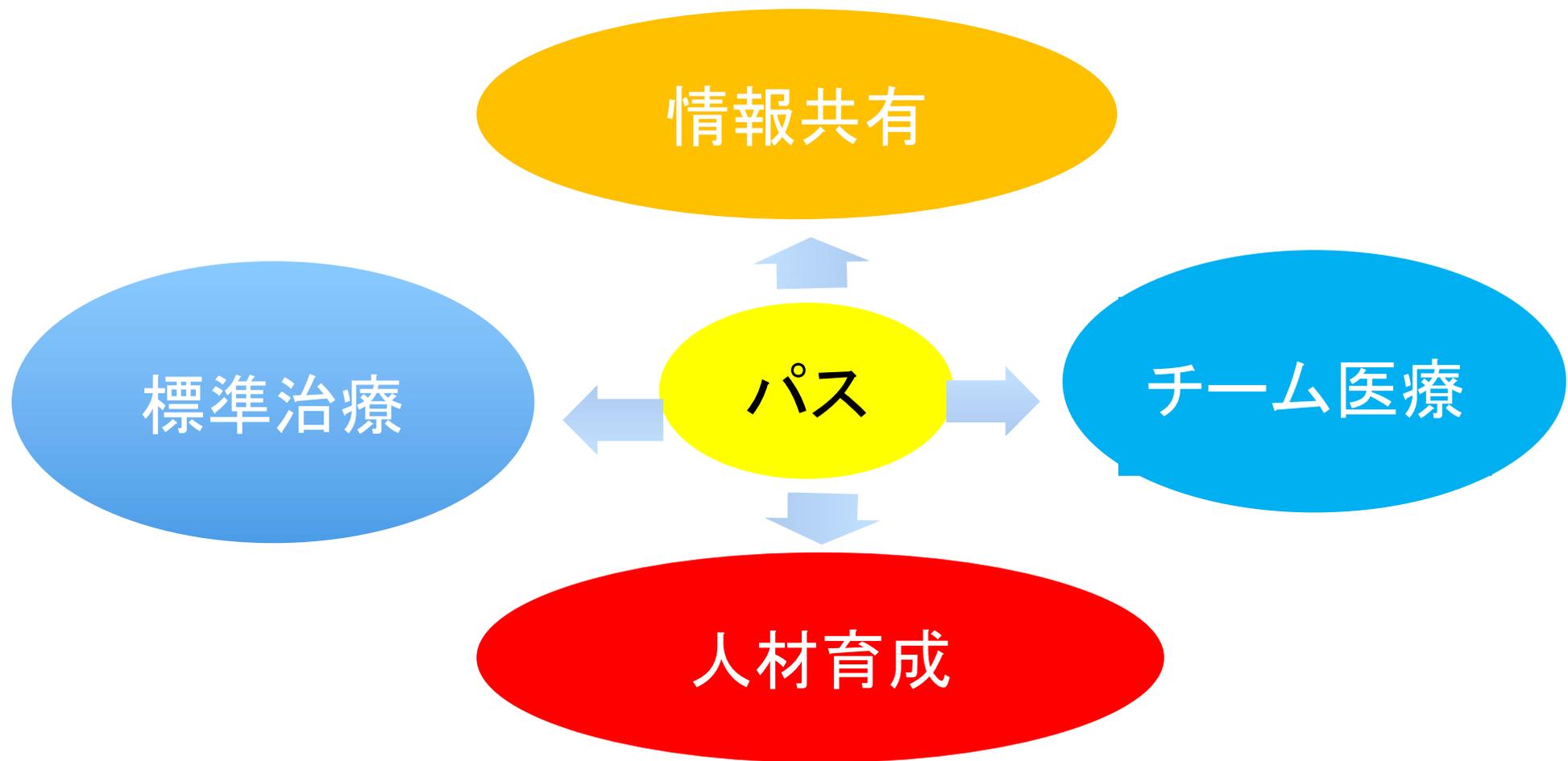
日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会

ストーマリハビリテーション

日本肝臓学会

計 27

クリニカルパスを活用した最適なチーム医療



パスは、全職員の仲間意識を高め、多職種の能力を活かし、充実した医療チームを提供するための有用なツールです。経営改善にも貢献します。

奥州医師会医師との症例検討会

- ✓ 平成27年4月から開始
- ✓ 紹介された患者の治療経過についてカンファレンス
- ✓ 当院担当医師がプレゼンテーションした後に意見交換
- ✓ 毎月最終木曜日



住民向け『出前講座』



院内での健康講演会



奥州市歯科医師会との連携

◆NST (Nutrition Support Team)

入院患者に最良の栄養療法を提供するため、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士など職種越えて構成された医療チーム

新型コロナの影響で歯科医の参加はR2. 10月より休止したが、R4. 4月再開

NST回診



重点取り組み事項

病床利用率の向上

地域医療連携
の推進

医師の働き方改革

ハラスメント防止

医療事故防止

HCU
(R8年2月運用開始予定)

HCUは「High Care Unit」の頭文字をとったものであり、日本語では「高度治療室」や「準集中治療管理室」と訳され、ICUと一般病棟の中間に位置するとされています。

将来に向けての構想

少ない医療資源を有効活用するには選択と集中が必要

二次医療圏の
見直し

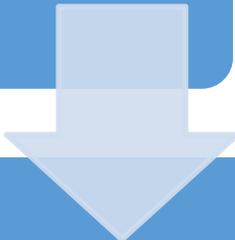
ハイボリューム
センター化

- 症例数が多い施設ほど手術成績が良くなる
- 高額医療器械を整備しやすい
- 外科系だけでなくがん治療に関わる内科系も同様
- 若い医師も患者さんも集まる

胆沢病院

基本理念

愛を持って地域住民の命と健康を守る



合い言葉（スローガン）

誇りを持てる職場、人を育てる病院



目指すこと

やりがい・成長・幸せ

